

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/05/08

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.89	0.24
JPY/THB	0.2287	-0.0005
USD/JPY	143.83	1.38
EUR/THB	37.17	0.05
EUR/USD	1.1301	-0.0069
USD/CNH	7.228	0.018
SGD/THB	25.42	0.07
AUD/THB	21.14	-0.06
USD/INR	84.83	0.39
USD Index	99.61	0.38

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.568	-0.044
10Y (THB)	1.828	-0.060
5Y (USD)	3.863	-0.030
10Y (USD)	4.269	-0.025

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	3,391.9	-30.9
WTI (Oil)	58.07	-1.02
Copper	9,419.5	-118.5

Stock

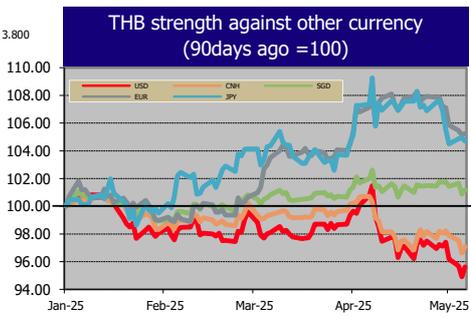
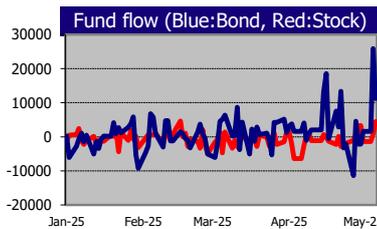
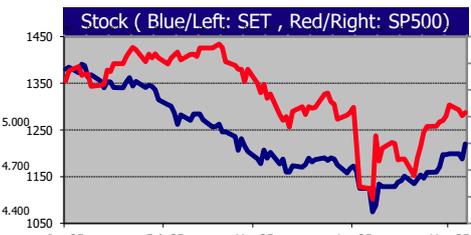
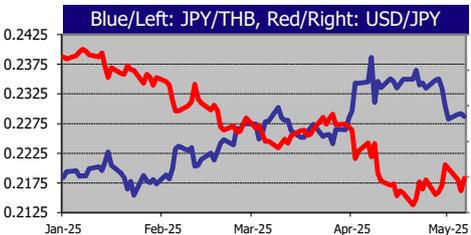
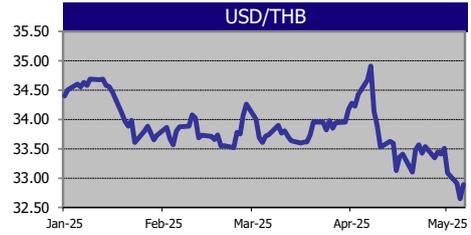
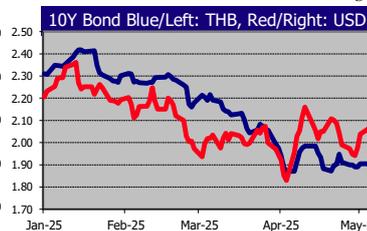
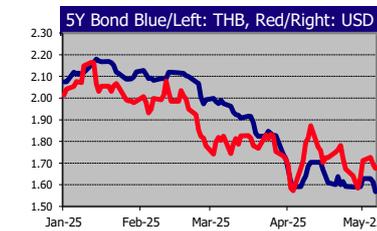
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,220.27	32.41
NIKKEI (JP)	36,779.66	-51.03
DOW (US)	41,113.97	284.97
S&P500 (US)	5,631.28	24.37
SHCOMP (CN)	3,342.67	26.55
DAX(GER)	23,115.96	-133.69

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	4,524	3670.5
Bond net flow	11,252	-14631.5

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは上昇。32パーツ台後半でスタート。米中が貿易問題で関係級協議を開催するとのヘッドラインや、中国人民銀行が預金準備率を50bpを引き下げの方針を示したことが人民元などアジア通貨の下げにつながり、バンコク時間はパーツ売り優勢となった。一服後は値を戻す展開に。NY時間にFOMCは無難に通過するも、パウエル議長が「金利調整を急ぐ必要はない」との見方を示したことで、終盤にかけてドル高が一段と進行し、32.89レベルでクローズ。

●ドル円その他

昨日のドル円は上昇。142円台半ば付近でスタート。米中貿易交渉開始に対する期待感から、東京時間はドルじり高となり、143円台前半まで上昇。その後は一時売られる場面があったものの、結局買い戻される展開となり、143円を挟んだ推移に。NY時間にFRBが政策金利の据え置きを発表し、声明文ではインフレと失業率上昇リスクが指摘されたことを受け、再度143円を割り込んだ。しかし、その後はパウエル議長の発言を受け、144ちょうど付近まで反発し、143.83レベルでクローズ。

Bangkok Dealer's Eye

昨日の米FOMCでは、事前のコンセンサス通り政策金利の据え置きが決定された。その後の記者会見でパウエルFRB議長は、金利調整を急いでいないと発言し、今後の決定はデータ次第となることを示唆した。スワップ市場が見込む年内の利下げ幅は、現時点で、FOMC前の0.80%前後(25bpの利下げが3回強)から大きくは変わっていないが、利下げ再開のタイミングは7月もしくは9月に後ズレというのが市場の基本認識になりつつあるようだ。トランプ大統領の圧力による決定ではないことを示すためにも、利下げまでに弱いハードデータを確認することは必要条件となろう。FRBが利下げに対する様子見姿勢を強めれば、ドルは買い戻されるというのがこれまでの経験則だが、茲許の米政権の朝令暮改の関税政策でドルへの信認が揺らぐ中、ドル買いの動きが持続するかは不透明だ。FOMC通過で市場の焦点は、週末10日、11日予定とされる米中貿易協議に移る。初回となる今回は貿易に関するディールというよりは緊張緩和が焦点になると報じられているが、米中交渉開始が期待できる内容となれば、週明けに相場が動意付く可能性に留意。昨日、米中両国から公式に会談の予定が発表されたタイミングでは、市場はドル高で反応したが、交渉の進展は中期的には元高要因にもなるはずであり、来週以降どちらの圧力が強まるかは注意深く見ておきたい。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.